

早分かり SDGs (エス・ディー・ジーズ)

- SDGsとは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称で、2015年に国連が採択した、**2030年までに達成を目指す環境・経済・社会についての国際目標**です。
- 「地球上の誰一人として取り残さない(leave no one behind)」をコンセプトに、**持続可能な世界を実現**するために、17のゴール(目標)と169のターゲット(具体的な到達基準)が設定されています。

SDGs と企業活動のつながり

- SDGs達成に向けた取組みはグローバル企業に限ったものではありません。日本国内で活動する企業においても、本業はもちろん、日頃の節電や節水、社員の福利厚生など、企業のあらゆる活動がSDGsの達成につながります。



<SDGs活用によって広がる可能性>

社会の課題への対応

SDGsには社会が抱えている様々な課題が網羅されていて、今の社会が必要としていることが詰まっています。これらの課題への対応は、**経営リスクの回避**とともに、**社会への貢献や地域での信頼獲得**につながります。

企業イメージの向上

SDGsへの取組をアピールすることで、「この会社は信用できる」「この会社で働いてみたい」という印象を与え、より、**多様性に富んだ人材確保**にもつながるなど、企業にとってプラスの効果をもたらします。

生存戦略になる

取引先のニーズの変化や新興国の台頭など、企業の生存競争はますます激しくなっています。今後は、SDGsへの対応が**ビジネスにおける取引条件になる可能性**もあり、**持続可能な経営を行う戦略**として活用できます。

新たな事業機会の創出

取組をきっかけに、地域との連携、新しい取引先や事業パートナーの獲得、新たな事業の創出など、今までになかった**イノベーションやパートナーシップを生む**ことにつながります。

※出典:「すべての企業が持続的に発展するために(平成30年6月環境省)」より
<https://www.env.go.jp/policy/SDGsguide-honpen.rev.pdf>

17のゴール(目標)とターゲット



8 働きがいも経済成長も
 [目標8には12のターゲットが設定されています。以下は5つめのターゲットです。]

[8-5]
 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。